

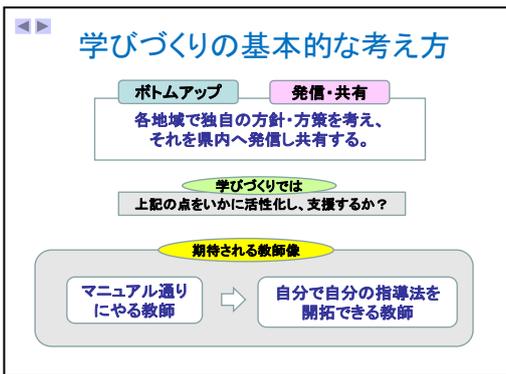
# かながわの

# 2016

# 学びづくりプラン

「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」は平成20年度にスタートし、各地域・各学校で創意を生かした多様な取組がなされています。平成27年度の「かながわ学力向上シンポジウム」では、南足柄市と藤沢市立善行中学校の事例発表、パネルディスカッションを行いました。

◇池田先生は、パネルディスカッションの中で、8年間の「学びづくり」の中で変わらない基本的な考え方について、こう指摘されました。



○学びづくりの主体は地域にあり、地域のボトムアップを大切にしている。今年度の実践についても、各地域から取組を発信している。

○学びづくりは、教師が自ら指導を振り返り、試行錯誤しながら取り組むものである。



横浜国立大学教育人間科学部 教授 池田 敏和 先生

## －かながわの強み1－ 活発な校内研修の取組

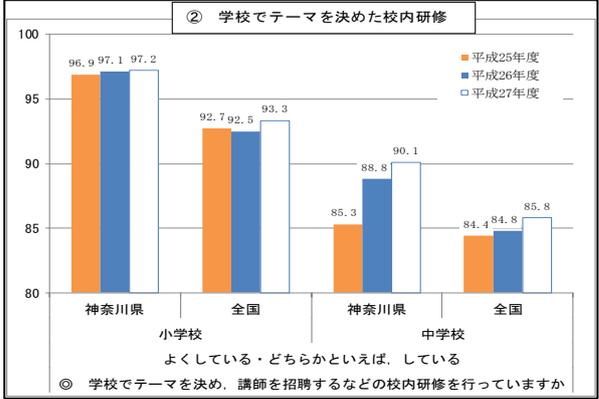
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているという学校は、全国と比べて上まわっている。



校内研究が活性化している学校では、「当たり前のことを行っているに過ぎない」という声を聞く。目の前の子ども達にどのような学びを構築するかを考えると、校内において浸透しているのだと思う。

横浜国立大学教育人間科学部 教授 青山 浩之 先生

◇青山先生は、パネルディスカッションの中で、「学校でテーマを決めた校内研修」について、次のように述べていました。



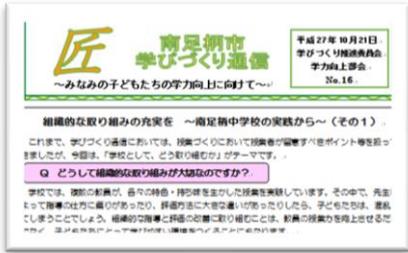
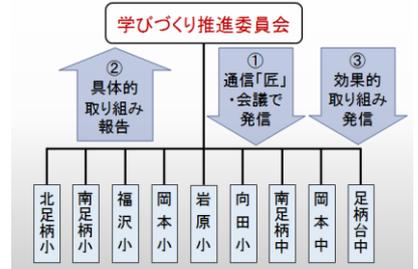
平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果から

# 児童・生徒や地域の実態に応じた創意工夫

## 家庭学習の充実に向けた市全体の組織的な取組 ～ 南足柄市 ～

### <市全体で取り組む研究体制>

市教育委員会は、市教育研究会と合同で取り組みつつ、新たに「運営委員会」、「推進委員会」、「実行委員会」を設置し、目指す子ども像である「夢と希望を持って粘り強く自分の道を切り開く子ども」の実現に向け、市全体の共通理解のもと研究を推進しています。指導主事と教員で組織された推進委員会は、市の課題をふまえた「取組の方向性」をまとめ、発信する役割を担っています。各学校は、推進委員会からの方向性に基づいた具体的な実践を行い、推進委員会に報告しています。効果的な実践については、推進委員会が学びづくり通信「匠」などにより市内各校、全教員に発信し、全小中学校で共有しています。



### 学びづくり通信「匠」による発信

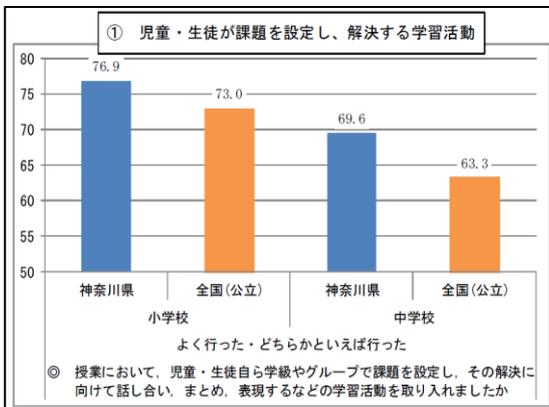
### <家庭学習の充実に向けて>

「家庭学習について、学校としてできることに取り組む」という方針のもと、課題の工夫や家庭との連携を図る取組を実施しています。留意点として、保護者に過度な負担を求めないこと、児童・生徒が一人でも家庭学習に取り組めるよう「学校で指導する」ことです。保護者には「指導」をお願いするのではなく、「褒めることをお願い」しています。



## — かながわの強み2 —

## 課題を解決する学習活動



平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果から

児童・生徒が課題を設定し、解決する学習活動を行ったと回答した学校の割合が、全国と比べて上まわっている。特に、中学校では、6ポイント以上上まわっている。

- 将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会の中で、大切なのは「課題を見出し、解決していく力」である。これからはこの力を育てていく必要がある。
- その意味で、南足柄市から出た「粘り強さ」、善行中から出た「試行錯誤」・「楽しむ」ということは、これからの社会を生きる力に通じるものがある。(池田先生)



# チームで取り組む かながわの学びづくり

## 自己肯定感の向上を目指した授業改善の取組 ～ 藤沢市立善行中学校 ～

### ＜経験年数の少ない教員が中心の研究体制＞

研究推進委員を「経験年数6年未満」で構成し、自ら積極的に研究授業を行うことに重きを置いています。ベテラン教員は、通常の学校業務の円滑な遂行、経験年数の少ない教員の育成を担っています。推進委員が共通の空き時間を時間割に設定することで、毎週1回定期的に研究推進委員会を開催でき、教科を越えて指導案検討などを行っています。



### ＜授業改善と体験活動の充実＞

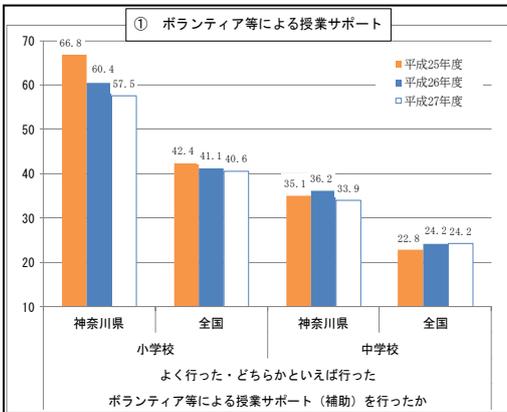


「授業改善」と「体験活動の充実」の2つを柱に、生徒と教師がともに自己肯定感を高められる活気ある学校づくりを推進しています。研究成果が実感できてきたことで、職員間では「研究を楽しむ」雰囲気があふれてきました。「授業改善」については、オープンエンドの課題に対し試行錯誤を大切に生徒が自ら考え、根拠を明確にして自分の言葉で表現したり、仲間と相談したりして学び合うことに各教科で取り組んでいます。「体験活動の充実」については、総合的な学習の時間を中心に、東日本大震災復興支援「ひまわりプロジェクト」、非核協記念大会での発表などで自己有用感や自己肯定感を育むようにしたり、「寺子屋善中教室」、小学生への絵本の「読み聞かせ」などの小中連携を図ったりするなど、多様な取組を行っています。



○南足柄市はもともと校内研究に取り組む土壌があった上に市の組織的な取り組みがわかり、善行中学校は今から作りあげるといふ学校全体の気持ちが見え、それぞれの在り方を感じた。それぞれの地域のやり方があるので、自分の学校はどんなところで頑張っているか、という眼差しを向けながら見ていくとよいのではないだろうか。  
(青山先生)

## －かながわの強み3－ ボランティアによる授業サポート



平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果から

ボランティア等による授業サポートを積極的に行っていると回答した学校の割合が、全国に比べて上まわっている。

神奈川県では、学校と地域、家庭が三位一体となって子ども達の学びを作っているという動きがある。  
(青山先生)



○先生方がどんな授業をやろうとしているのか、研究の内容を保護者にも見てもらうとよいのではないかと。  
(PTA協議会機部執行委員)

◇推進地区では、「学びづくり」の活性化に向け、それぞれの地域の実態に応じた取組、創意を生かした取組がされています。その中からいくつかをご紹介します。

※取組内容については、次のホームページでも紹介しています (<http://www.pref.kanagawa.jp/ont/f534289/>)。

### 小中一貫教育～つながいを創る

- 9年間を見通した一貫性、系統性のある指導を通して、児童・生徒の学力の向上を図ることを目指しています。児童・生徒の交流、教職員の交流、地域の方との連携を通して「人のつながり」を、小中間での合同研修会、乗り入れ授業、校内研究会への参加、日常的な授業参観を通して「学びのつながり」を創り出しています。

(海老名市)



### 「授業案」検討・「ネクストプラン」の作成

- 児童・生徒の実態、付けたい力、教材の特性等の関連を、多面的に議論する授業案検討会、設定した視点から授業の改善点を見い出して「ネクスト・プラン」を作成する協議会等の実施により、研究の深化を図りました。
- 市のイントラネットを活用することで、各校の研究情報を共有することができました。

(綾瀬市)



### 授業改善と生活習慣の確立

- 生徒が主体的・協働的に学ぶ「聴いて、考えて、つなげる授業」づくりにより、先生方の研究への意識が高まりました。
- ユニバーサルデザインの3つの視点(=「焦点化」「視覚化」「共有化」)を踏まえた授業づくりの研究により、学習のつまづきを想定したきめ細かな授業が増えてきました。

(愛川町)

### 町で取組む日常授業の改善

- 「ユニバーサルデザインを生かした授業づくり」と「児童・生徒理解にもとづく授業づくり」により、子ども一人ひとりを大切にしたい学びの集団づくりが進んできました。
- 各校の学校研究テーマを生かしながら「日常授業の改善」に町全体で取り組んでいます。授業に臨む子どもたちの姿勢や子どもの主体的な学習活動を取り入れた授業が増えてきました。



(大磯町)

### 家庭学習ノート

- 家庭学習ノート「TRY TRYノート」により、子どもの自主的な学習が進んでいます。また、担任だけではなく部活動顧問など複数の教員が関わることで、子ども理解が深まりました。
- 昼休みに自習室を開放し「TRY TRYタイム」を設定したことで、家庭学習が進められなかった子どもたちも学習習慣が身に付いてきました。

(鎌倉市)

### 学習補助

- 基礎学力定着度確認問題と小学校学力向上補助教材を作成しました。問題は市内全小・中学校で活用し、補助教材はすべての児童に配付しています。
- 学校を中心とした読書活動の推進を家庭、地域へと拡大するために、公立図書館、公民館と連携し、さまざまな機会を利用して優良図書の周知・普及に努めています。



(寒川町)

※ その他、少人数指導やチーム・ティーチングなど指導体制の工夫により、子ども一人ひとりの能力・適性、興味・関心等に応じた学習展開を実現している学校もあります。

◆県内では、地域の特色、子どもたちの実態を踏まえたさまざまな取組が行われています。他校の実践も参考に、子どもたちのための「学びづくり」を充実させましょう。

平成28年3月発行 問い合わせ先 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課  
〒231-8509 横浜市中区日本大通33 電話(045)210-1111 (内線)8217